

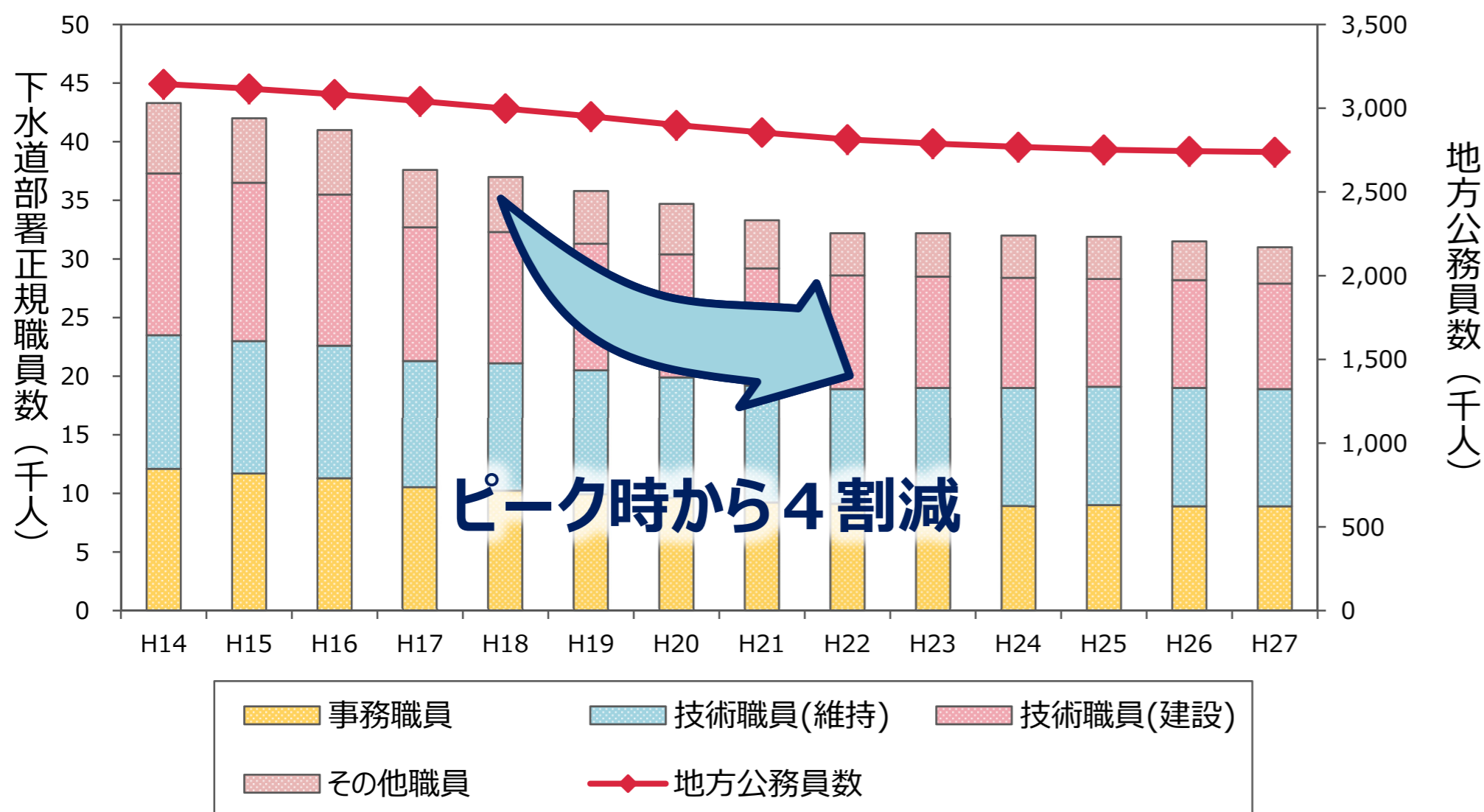
ストックマネジメントを学ぼう ～SM支援の取り組み～

建政部 都市整備課 森下 充史

下水道を取り巻く現状

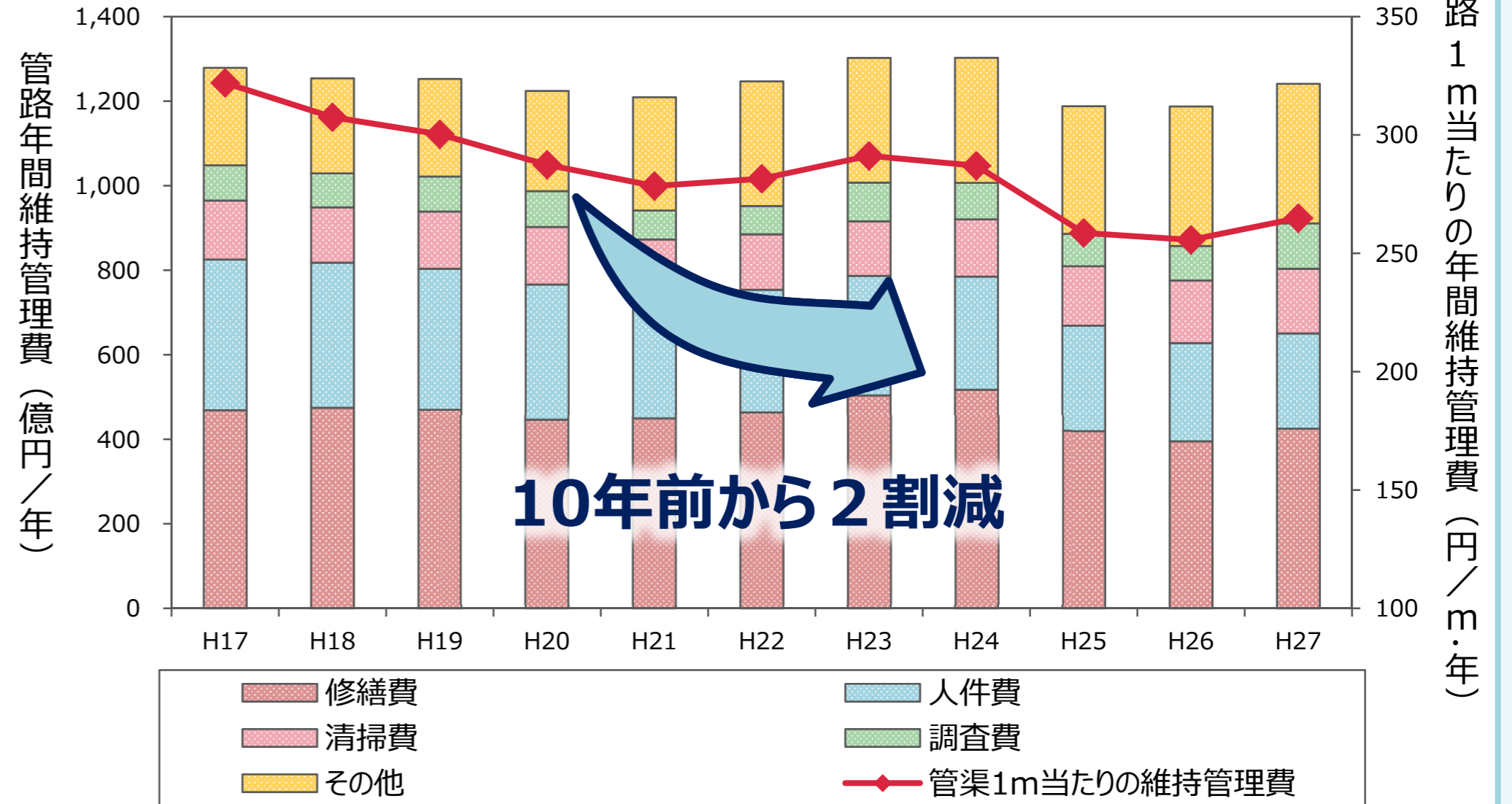
ヒト

地方公務員数と下水道部署正規職員数の推移



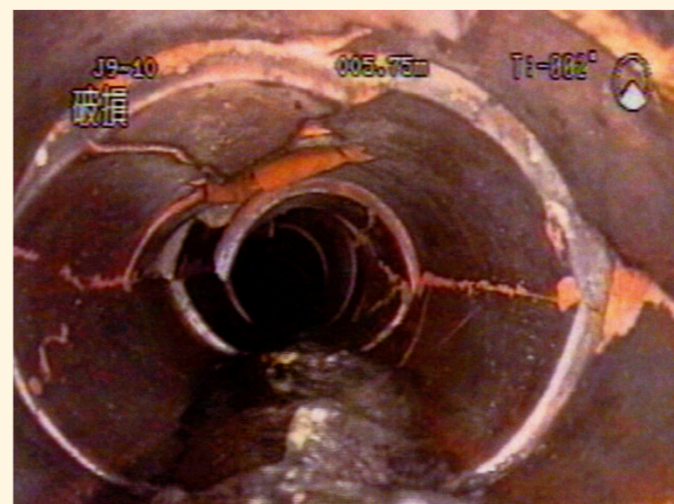
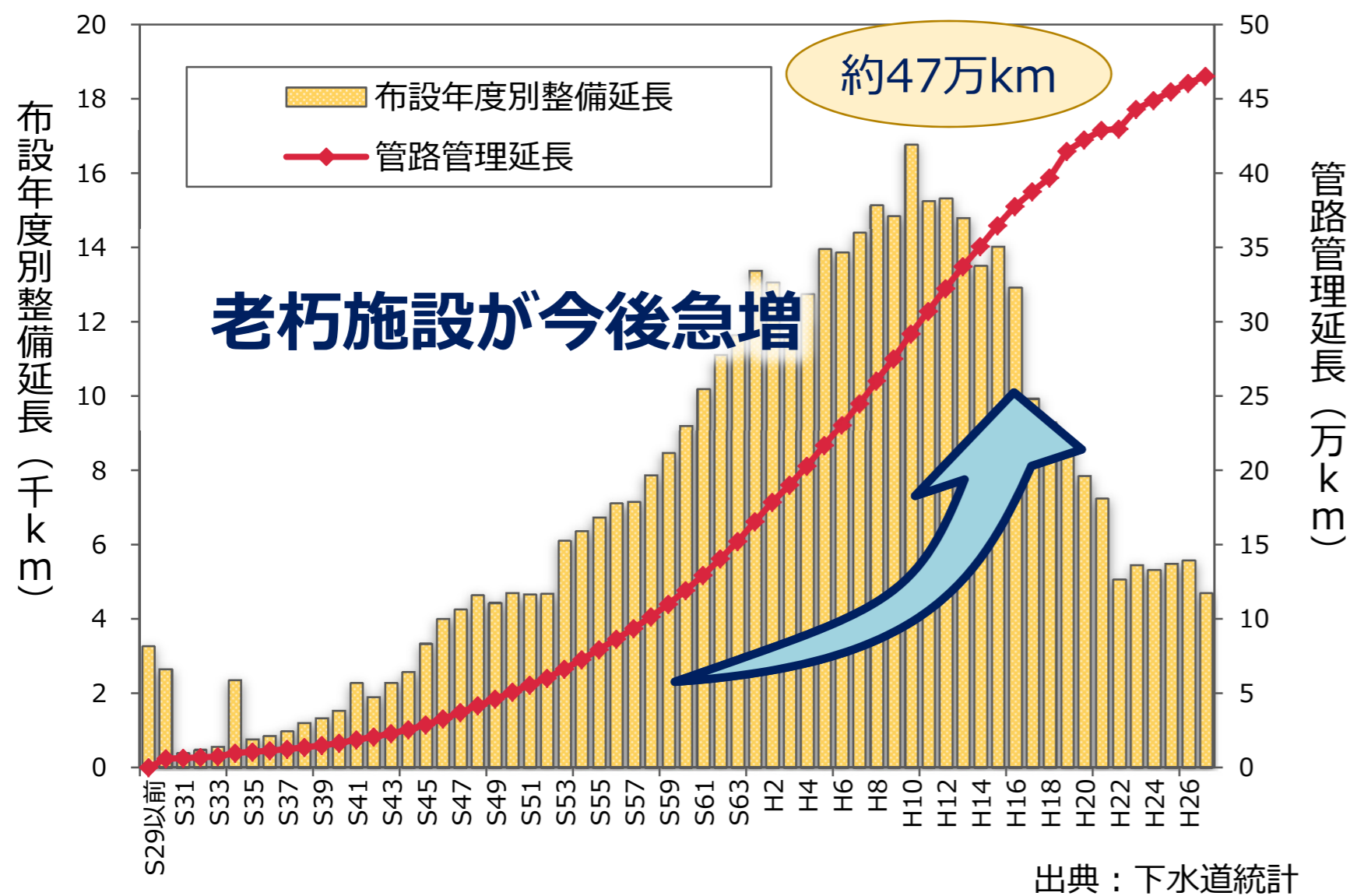
カネ

下水道管路年間維持管理費の推移



モノ

下水道施設の年度別整備延長



管きよの老朽化



処理場施設の老朽化



管きよの老朽化による道路陥没

年間3,300件発生

克服すべき課題

職員減少「ヒト」

- ・下水道職員の不足
- ・技術力の不足

施設老朽化「モノ」

- ・更新需要の増加
- ・維持管理費の増加

収入減少「カネ」

- ・使用料収入の減少
- ・経費回収率の低下

下水道事業が維持できなくなる恐れ

今後さらに加速

効率的な事業運営による
下水道事業の**持続性確保**が課題！

解決策の方向性

官民連携

ストック
マネジメント

新技術

広域化
・共同化

使用料改定

接続促進

ストックマネジメントとは・・・

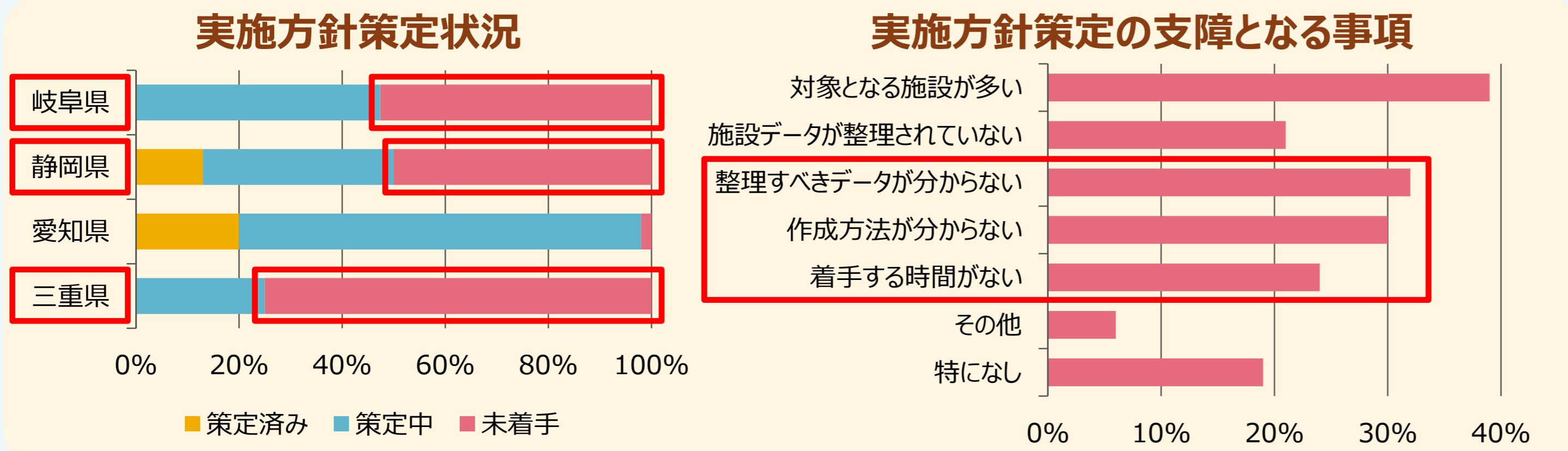
下水道施設全体の中長期的な施設状態を予測しながら、維持管理や改築を一体的に捉えて計画的・効率的に管理する手法

国土交通省から自治体への要請

ストックマネジメントの早期導入に当たり、**ストックマネジメント実施方針**を作成してほしい

自治体職員自らの手で実施方針を作成！ ストックマネジメント勉強会を開催

事前アンケート結果



アンケートから分かったこと

- 岐阜県、静岡県、三重県で策定率が低い
- 作成方法を理解していない自治体が多い
- 他の業務に追われ作成の時間が作れない

勉強会の工夫（こだわり）

- ◆ 講義形式では理解が不十分になるのでは
- ◆ 実施方針をさらに作成しやすいものにできないか
- ◆ 職員の貴重な時間を有効に活用できないか

こだわり1

- 自ら手を動かしていただき、**その場で**実施方針を作成
▶ 時間の有効活用 理解度の向上

こだわり2

- **入力情報リスト**の提供
▶ 実施方針の作成に当たり、必要な**情報・データをリスト化**
国交省公表の「実施方針策定例」に**コピーするだけ**で実施方針が完成



こだわり3

- 入力情報リストと実施方針策定の**手引き**の提供

入力情報リストや実施方針の作成手順を図を多用しながら**分かりやすく**記載
事前アンケート等で得られた疑問点を**Q&A形式**で記載
勉強会やその後頂いたご意見などを踏まえ**随時リバイス**を行う予定



こだわり4,5

- **グループワーキング形式**の採用
▶ 悩みや課題の**共有** 他自治体との**横のつながり**を形成
- 各グループに**スタッフ**を配置
▶ すぐに**質問**できる環境づくり 疑問点を**その場で**解決

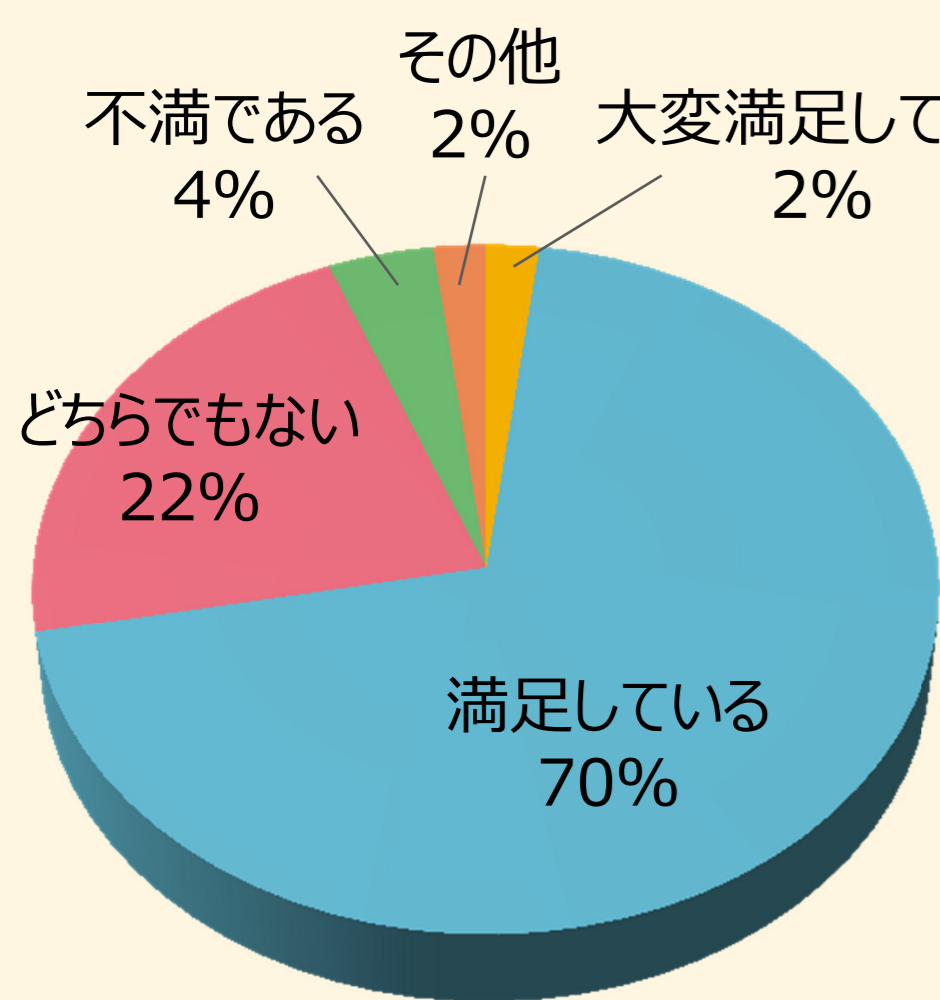
開催状況及び成果

	参加自治体数	下水道実施自治体数
岐阜県	24	38
静岡県	17	29
三重県	15	23
合計	56(62%)	90

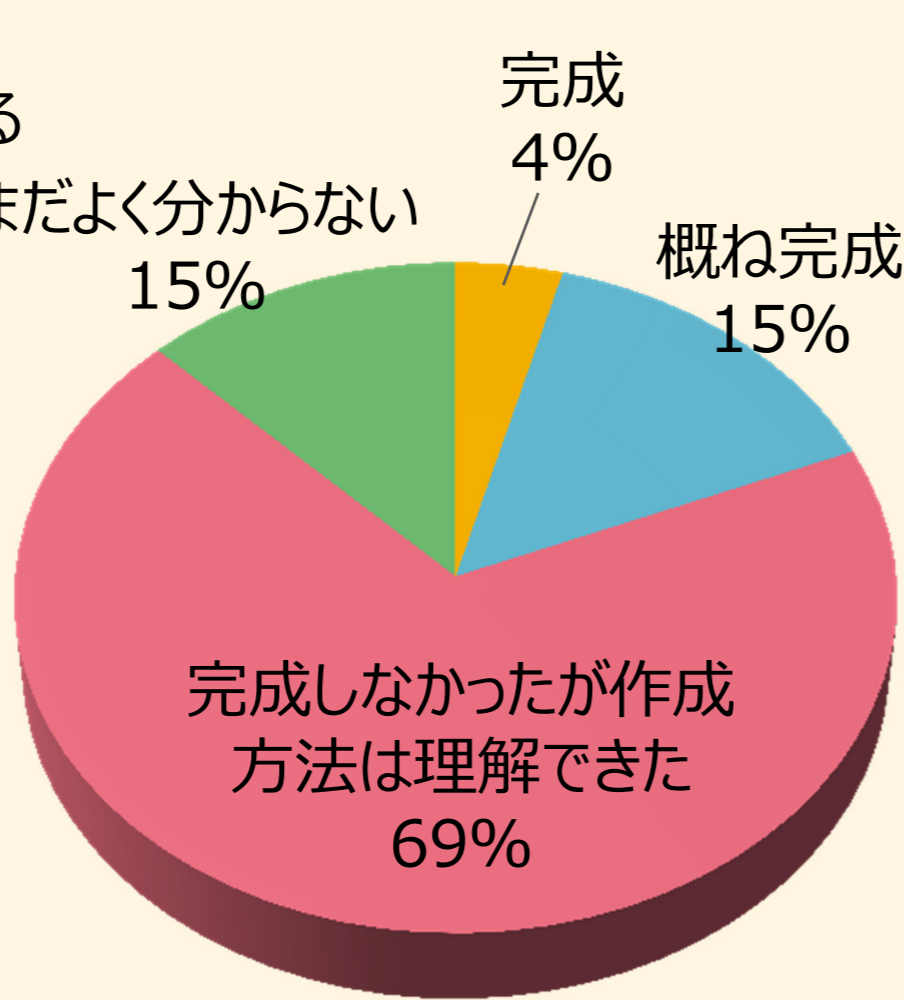
自治体参加状況



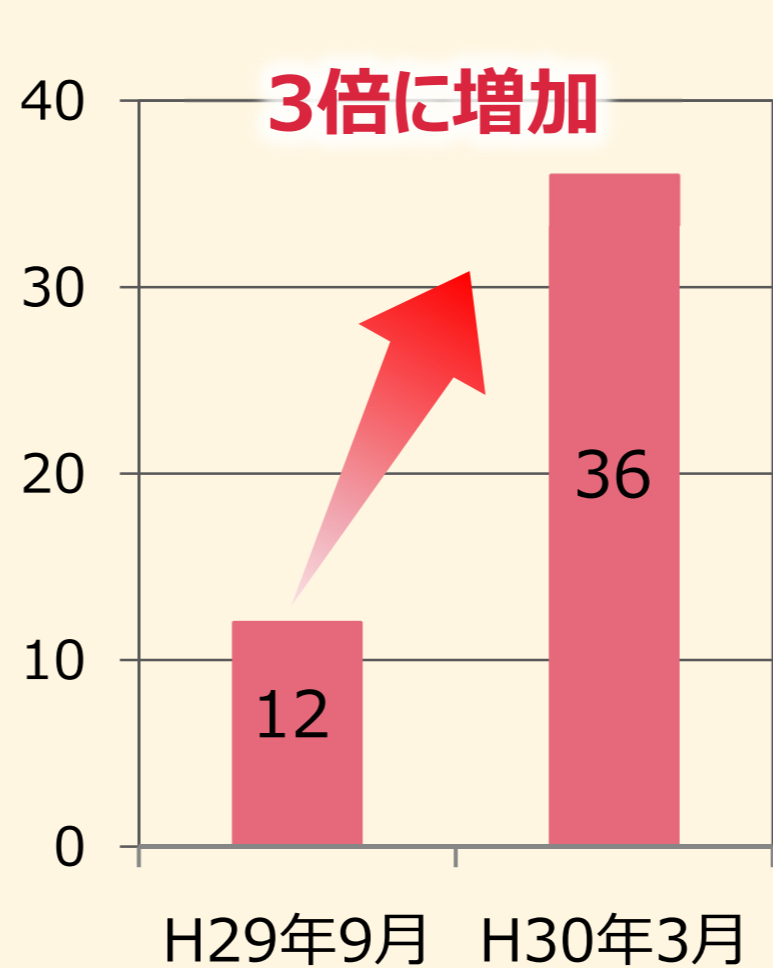
勉強会の満足度



実施方針の完成度



勉強会後の策定状況



参加者の声

- グループ形式での勉強会だったので、他市町村の施設管理の実態を聞くことができ、貴重な会だと思いました。
- 各グループにスタッフが配置されていたため、不明な点や疑問点を自由に聞いて良かったです。
- PCを使った入力作業が有意義でした。
- 委託で作成する予定であるが、内容が理解できて非常に役立ちました。